



# カリオン

Vol. 14



2011年8月

発行 姫路赤十字看護専門学校  
発行責任者 学校長 湯浅志郎  
編集責任者 事務部長 久保純一  
〒670-0063 姫路市下手野1-12-2  
TEL/FAX 079(299)0052(直通)

## 東日本大震災 石巻赤十字看護専門学校支援について

平成23年3月11日、東北地方を襲ったマグニチュード9.0最大震度7の大地震は津波を引き起こし、沿岸部の街を飲み込んだ。

宮城県石巻湾の沿岸、旧北上川支流の近隣に位置していた石巻赤十字看護専門学校は、1階が損壊して大切な資料や図書などすべてが流された。当時授業中であった学生は、教員の指示のもと近隣の高齢者を背負いながらも地域の避難所に間一髪で避難できた。ライフラインの途絶えた避難所では、津波で漏れた住民を低体温から救うために夜通しマッサージしたり、負傷者の手当てをしたり、流れないとイレを汲み取るなど、教員と学生が中心となって災害看護を実践していたと聞いた。

被害を受けた学校再開のために、全国の赤十字看護専門学校や病院から教員経験者が派遣され、流された資料の復元や、再開後に必要な資料や資材の準備を支援した。私たちの班は、主に授業や実習の資料作成や整理、学校図書の購入リストの作成に取り組んだ。



(C)JRCS 被災した石巻赤十字看護専門学校図書館



(C)JRCS

外壁

5月30日、石巻赤十字看護専門学校は、石巻赤十字病院において平成23年度入学式を挙行し、39名の新入生を迎えた。6月1日からは石巻専修大学の校舎の一部を借りた仮校舎で、ようやく新年度の授業を再開した。今後も私たちにできることを、継続して支援していきたい。

(専任教師：藤田 美佐子)

### 姫路赤十字看護専門学校教育理念

本校は、赤十字の基本理念「人道」を看護実践で具現化する看護師を育成することを使命とする。看護は人間の健康生活にかかわるケアリングである。本校では、対象者と学生、ならびに学生と教員間のケアリングを目指してリフレクションを教育の基調とする。

#### 【教育目標】

- 1)人道（ヒューマニティ）を基盤とする赤十字の思想に基づき、人間の生命と健康を守り、苦痛を予防・軽減し、尊厳を確保できる豊かな人間性を養う。
- 2)人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養う。
- 3)人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とダイナミックな相互作用等の観点から理解する能力を養う。



- 4)赤十字の基本原則を基盤とする看護専門職業人としての職業倫理觀をもち、看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。
- 5)人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 6)健康的保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。
- 7)看護の実践は「安全」で「安楽」を第一義とし、医療事故を未然に防止できる能力を養う。
- 8)保健・医療・福祉制度と他職種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともに、人々が社会的資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。
- 9)赤十字の諸活動に興味関心を持ち、将来、赤十字の理念のもとに活動する看護師として国内外で活躍できる基礎的能力を養う。

2009年4月 改訂

# 学校支援体験記

## 3/24～3/31派遣

学校の支援要員として、私達がはじめて活動しました。学校の先生方が、学校内や周辺に流された書類等を大事に拾い集めてこられたものをパソコンに入力しました。書類をみていると被害の凄まじさが伝わってきました。



(専任教師：藤元 由起子)

## 4/23～5/1派遣

被災状況を目の当たりにして、同じ赤十字看護専門学校の専任教師として、微力ながらお手伝いできることをうれしく思いました。また震災がなければ、出会うことのなかった全国赤十字施設のスタッフと目的を同じくして働くことができたことも貴重な経験となりました。同じ時を過ごした皆様に心から感謝するとともに、快く送り出して下さった皆様にも感謝します。

(専任教師：名村 かよみ)

## 3/29～4/5派遣

現地の情報が十分ないままに、被災地で学校支援の業務を行うことに不安はありました。

しかし、被災した石巻赤十字看護専門学校の水没した資料をパソコン入力する作業を通じて、少しでも復興を支援することができたことをうれしく思います。被災された皆様の1日も早い回復を心よりお祈り申し上げます。

(専任教師：西谷 由子)

## 5/8～5/15派遣

石巻赤十字看護専門学校の専任教師は、自らが被災者でありながらも学生のケアを優先し、学校再建のために奔走していた。私たちが支援に行くことで「少しは休めて前向きになれた」という言葉をきいてほつとしたが、まだまだ長期間にわたる多様な支援が必要な状況である。「見送る側は取り残された気持ちがする」という現地の声に後ろ髪を引かれた。

(専任教師：藤田 美佐子)

## 千羽鶴に願いを込めて



私たちは今回の病院フェスタで、来校者の方にも協力していただき、千羽鶴を折りました。

同じ赤十字の看護学校が津波で悲惨な状況に遭っているのを知って、他人事ではないと思いました。被災地では家族を亡くした方や家がなくなってしまった方など、心に傷を負った人がたくさんおられます。希望を持ち続けて頑張ってほしいと思います。そして、一日も早く復興してまたみんなに笑顔が戻ってくるようにという思いを込めました。

(クラス II)

## ナイチンゲール祭

毎年5月12日に開催されるナイチンゲール祭。今年のテーマは「pray～祈り～」でした。本番で今まで練習してきた歌を、一人一人祈りを込めて精一杯歌いました。私達の歌を聞いて涙してくださる患者さん、一緒に歌ってくれる患者さんもおられ、みんなの協力を得て感動でいっぱいの素晴らしいナイチンゲール祭になりました。ナイチンゲール祭に携わった方々に感謝の気持ちを伝えたいです。ありがとうございました。

(クラスⅡ)



フローレンス・ナイチンゲールは、イギリス人で大富豪の両親の旅行中、1820年5月12日イタリアのフィレンツェに生まれました。

クリミア戦争で傷ついた兵士たちを、ランプを持って癒したことから"ランプを持った淑女"と呼ばれるようになりました。そこで、5月12日には姫路赤十字病院でキャンドルサービスを行なっています。

## 病院フェスタ



平成23年5月21日（土）に第3回目の病院フェスタが開催されました。天候にも恵まれ、来校者は1000人のぼり盛況に行うことができました。

学校では、赤ちゃんの人形や模型、手洗いチェッカーが大人気でした。「きれいに洗えたね」と声をかけるとみんなとても得意げな表情をみせてくれました。2度目参加した子どもは、車イスに乗っている「さくらさん」（体の向きを変えたり、体を拭く練習をしたりするための人形）に「会いに来た！元気かな～」と声をかけながら、車イスを一生懸命押してくれていました。

また、教室では、学生ボランティアによる折り紙コーナーや紙芝居や絵本の読み聞かせが行われました。お母さんが呼んでいるのも気付かず、夢中に折り紙を折ったり、絵本や紙芝居を真剣に聞き入ったりしていました。

「大きくなったら看護師さんになりたい」や「この学校に入学したい」と言ってくれる子供たちがたくさんいてくれたのでとても温かい、嬉しい気持ちになりました。学校のアピールの良い機会となりました。

(専任教師：藤元 由起子)

# 第113回生 入学式

平成23年4月5日 姫路赤十字看護専門学校 第113回生40名の入学式が執り行われました。3月に起った東日本大震災の後、赤十字の活躍がますます期待される中での入学式は学生にとって、さらに身の引き締まる思いだったことでしょう。

## 新入生の抱負

まだまだ緊張は解けませんが、学校生活はとても充実しています。様々な人との出会いに感謝し、これから頑張っていきたいです。

(クラス I)



覚えることがいっぱい、育児との両立はとても大変ですが、仲間や先生に支えてもらいながら、学生生活を楽しんでいきます。

(クラス I)



## 新入生歓迎会 4月8日

113回生40名を迎える、姫路市中央体育館で新入生歓迎会が行われました。自己紹介ゲームやドッジボールをしながら交流を図り、楽しい時間を過ごしました。新入生の皆さん、一日でも早く学校生活に慣れ、一緒に頑張りましょう。

(専任教師：神戸 真由美)



# 第110回生 卒業式



## 卒業を祝う会

「雪とパイナップル」  
劇団プロデュース・F



平成23年3月9日、「卒業を祝う会」を行いました。今年は、劇団プロデュース・Fを招き、「雪とパイナップル」（鎌田實著）の朗読劇をしていただきました。1986年に起きた切尔ノブイリ原子力発電所事故で健康被害を受け、白血病を発症した子どもを取り巻く、母親、医療者の物語です。

学生は当時のことを知りませんが、朗読劇を見て、「あらためて、声の力を実感した。」と感想を述べていました。役者の一つ一つのセリフや声のトーン、雰囲気からこの事故が人間に与える影響、そして甲状腺がんや白血病に苦しむ子どもたち、家族の辛さを知ることが出来たようです。

臨床にて、これから様々な経験を積んでいきます。「声の力」で患者様を元気にして欲しいと思います。そして、医療・看護に対する知識だけでなく、感性を磨き、広い視野を持った人間、看護師になってもらいたいと願います。

(専任教師：井上 恵実)



## 卒業生からのことば

僕はNICU（新生児集中治療室）で勤務しています。NICUでは早産児や低出生体重児が入院しています。新生児と関わることは楽しく、やりがいを感じているのでこれから1人前の看護師になれるよう日々努力していきたいです。

（ 平成22年度卒業生  
姫路赤十字病院 NICU勤務 ）



# 第100回看護師国家試験全員合格



「110回生全員合格」と聞いて、幼い頃からの夢である看護師になれたんだと、とても嬉しかったです。合格発表後は看護師として働くことへの楽しみな気持ちと大丈夫かなと不安な気持ちがありましたが、今は元気に一生懸命働いています。

(成田赤十字病院勤務)



## スワルティさん合格



今年、看護師国家試験に無事合格することができました。病院に来た時は何もできず、専門用語も少ししか分かりませんでした。しかし、皆様のおかげで、ここまでやってこれました。いつもお世話になっている校長はじめ、先生及び事務の方、また学生の皆さんに心より感謝いたします。

今、N I C Uで新人看護師として働いています。まだまだ青いですが、これからもご支援の程、宜しくお願いいたします。

(姫路赤十字病院勤務：スワルティ)

## 国家試験分析

第100回看護師国家試験は、事例紹介文を含め全般の問題文が短く簡潔になり、受験生にとっては、分かりやすい文章であった。また「閾値」「感受性」などのイメージしにくい言葉や「絶対」「必ず」など決めつけ表現もなく理解しやすかった。

全国の合格率は91.8%であったが、本校は今年も全員合格することができた。来年も全員合格できるよう今回の国家試験の特徴と受験対策をまとめたので、参考にしてほしい。

①医療事故や法律の改正など社会背景を考慮した問題が出題されている

→新聞やニュース、「国民衛生の動向」などから社会の動向に敏感になろう

②レントゲン写真で骨折を判断し、図式で固定範囲を答える新しい形式の問題が出題された

→検査所見からイメージできるよう、臨地実習での経験を大切にしよう

形式が変わっても戸惑わないよう、確実な知識を身につけよう

③看護師国家試験の頻出・重要である問題は、変わらず出題されている

→過去5年分の問題を解き、覚えるべきキーワードを理解しよう

実習前に国家試験のポイントをつかんでおこう

(専任教師：松井 里美)

# 職員紹介



湯浅 志郎 校長

内科医、専門は肝臓疾患。人間が生きる基本は「食べること」「排泄すること」「眠ること」の3つである。看護師さんはこの3側面をしっかり観察してほしい。患者中心の医療を実現するために患者様とそのご家族、医療チームが一体となって問題解決に取り組むマイクロシステムを推奨している。

副校长に就任いたしました。「看護学概論」「看護実践の哲学」等の科目を担当します。どちらも「看護」について考える科目です。看護は自分の体をつかって対象の方々に援助します。臨地実習での体験をリフレクションしながら、自分自身と対象への理解を深め、関係を築きながらよりよい看護が実践できるよう、学生の皆さん、臨床の皆さん、教職員ともに学んでいきたいと考えています。



柳 めぐみ 副校長



久保 純一 事務部長

看護師には知識・技術はもちろんのこと、豊かな人間性が求められると思います。みなさんは、看護師になるという夢をかなえるために本校で学んでいますが、3年間で辛いこともあるでしょう。つまずいた時が成長のチャンスです。最初に看護師になりたいと思ったときの気持ちを思い出してください。学生の皆さんには、多くのことを学んで大きく飛躍してほしいと願っています。



田畠 淑子 教務主任  
バッハ「アリア」にはまっています



山田 道代(実習調整者)  
予供がたくさん増えました。学校と山田家の育ての両立に励みます



名村 かよみ  
心機一転がんばります



松井 里美  
自転車通勤とバレーボールで体力保持につとめています。



藤元 由起子  
学校に花と緑が溢れるようにがんばります



井上 恵美  
かわいいお年寄りを目指して頑張ります



西谷 由子  
「やるなら楽しく」をモットーにがんばっています



神戸 真由美  
いつも笑顔を忘れずに…  
教師3年目、主婦1年目、がんばります！



藤田 美佐子  
これまでの看護経験をふまえて、講義、実習等にこころをこめています。  
学生には、受け身ではなく自らの体験からも学びを深めてほしいと思っています。



上荷 章子  
やっと1年たち、2年目になりました。  
よろしくお願ひします。



中島 啓子  
教員1年目。  
若いつもりでがんばります



尾形 治美  
図書館通いにハマっています



中嶋 和美  
『すんどう屋』マイブームです

# キャンパスだより

## 基礎看学実習

今回の実習では病院や併設の施設を探索し、様々な部署でお話を伺いました。病院内外のいろいろな職種の方々の連携によって患者さんが支えられ病院が成り立っていることがよく理解できました。設備の面などは私たち自身に直接関係するにも関わらず、学校でも普段あまり意識することはありません。普段の生活の中でも「誰か」を支えている「誰か」の存在があることを忘れないように、常日頃から感謝の意識を持つことを心がけるようにしたいと思います。



また、ボランティアの方々には「3年後が楽しみ。」「良い看護師さんになってね。」「たいへんだろうけど頑張ってね。」などの優しいお言葉をいただき、学校に慣れ始め緩み出した気持ちを引き締められました。

(クラスⅠ)



## おたのしみ会（小児病棟訪問班）

今回、小児病棟訪問班は動物をテーマに「おたのしみ会」を企画しました。私達はプレイルームや病室内のどちらでも楽しめるように、安全面にも考慮しつつ準備しました。

長い入院生活で私達が接するのは短い時間ですが、その中でレクリエーションを通じて子供たちと触れ合いその笑顔に元気づけられました。

(クラスⅡ)



### 「睡蓮」

学校の中庭に可愛いらしいスイレンが咲いているのを皆さんご存知ですか？

睡蓮は、日中に花びらが開き午後になると閉じてを3日繰り返します。これを人間に例えて、日中に開く=目覚める、夜は閉じる=眠るというところから「睡眠する蓮」「睡蓮」と呼ぶようになりました。

(専任教師：藤元 由起子)



### 編集後記

出張にていた上司の電話で東日本大震災の発生を知った。津波が市街地に押し寄せるテレビの映像は現実のこととは思えなかった。その後、石巻市の被災地を自分の目で見て初めて現実味を帯びてきた。この数ヶ月は世界中の人々が自然の猛威を目の当たりにして自分に何ができるのか、本当に大切なものは何かなど考え続けてきたように思う。これからは、復興の過程から眼をそらさず、学生とともに自分たちに今できることを精一杯やっていこうと思う。今日の前にあること、出会うことはひとつひとつがかけがえないことなのだから。

(専任教師：名村 かよみ)



## 平成23年 前期行事予定

- 7月 20日(水)・21日(木)クラスⅡ・Ⅰトレーニングセンター  
25日(月)～8月23日(火)クラスⅢ夏季休業  
25日(月)～8月28日(日)クラスⅡ・Ⅰ夏季休業
- 8月 25日(木)クラスⅢケースレポート発表
- 9月 20日(火)～9月29日(木)期末試験  
30日(金)球技大会

## オープンキャンパスのお知らせ

日時：8/3・10・17(水)、10/2(日)  
14時～16時(2時間程度)  
場所：姫路赤十字看護専門学校  
内容：本校の施設見学や在校生による催し  
参加希望の方は、電話で申し込んで下さい。  
**(☎ 079-299-0052)**  
＊保護者の方、高校の先生方の参加も大歓迎！